

あやめ台団地「お試し体験会」順調に進行中！

去る12月3日（木）、千葉市稲毛区あやめ台の「あやめ台団地集会所」には、朗らかな笑い声が溢れていた。ここではすでに11月5日から千葉県支部主催、UR都市機構の協力による「お試し太極拳」が開催されているが、月が替わって進行状況はいかがかと、訪ねてみた。

コロナ禍の中でもあり、急に寒気の増した日であったが、続々と参加者が顔をそろえる。

毎回UR機構から「体調チェックシート」が渡され、発熱や体調不良の有無などをチェックするようになっているので、会場につくとまず自分の健康状態を報告して会場入りをする。会場は窓が数か所開放され、ソーシャルディスタンスをとって指定された場所に座る。もちろん手指の消毒液や、除菌の装備も完璧である。UR機構の並々ならぬ気遣いが感じられる。

早々と到着されたお1人に伺ってみると、一度も休まずに参加しておられるという。「健康になりたいですからね！」と優しい笑みが満面に広がる。講師を担当する田島英志氏が「ニイハオ！」と挨拶すると、全員で「ニイハオ！」と返す元気な声も、すっかり慣れた調子だ。この日は立禅、甩手、八段錦、太極拳とカリキュラム通りに稽古が進んでいく。田島先生のお話では、「ゆっくりゆっくり、無理なくできるように、部分稽古も一式ずつのんびりやっています」

先生も生徒も和やかに、すでに「健康を作る」という目的のもとに、信頼という強いお仲間同士の結びつきが始まっているようだ。2021年3月末まで19回に及ぶ太極拳体験会だが、ますます楽しい会となりそうだ。



「あやめ台団地お試し太極拳」の練習風景

12月3日撮影（撮影：松井将子）